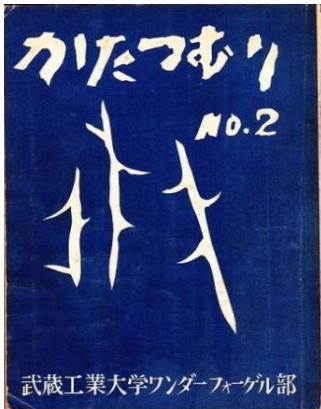




仙台も連続真夏日新記録に届かという残暑が続いていましたが、20日を過ぎてようやく秋の気配を感じる状況になってきました。 遠刈田は朝方の気温が9月に入って15℃~21℃で推移してましたが日中はやはり30℃を超える日が何日もありました。 9月になってから除湿モードを含めエアコンはほとんどつけ放し。 電気代がちよっと気になります。 関東のみなさんの記憶は薄れ気味だと思いますが、地元ではこんな看板がまだ掲示されてますし、地元のテレビは思いを風化させないようにと震災関連の番組を頑張って放送してます。



秋の気配、栗の実もこんなに大きくなってます。 散歩の途中にポケットいっぱい拾ってきては、毎日栗ごはんが去年の定番でした。 今年もきっと豊作？でしょう！  
 右上の写真はルーティーンのnaviとの朝の散歩の時に撮りました。 射し込むあさ日に胸長犬とあしながおじさんが行く！！の図です。 なかなか黄色くならなかった苗から育てたパプリカ・無事収穫です。 肉厚でしっかりパプリカしてます。 わが家の朝食は何時もパンとコーヒーとたっぷりの野菜サラダ。採り立てを美味しくいただきました。 紗千子ブチ農場主は来年も挑戦するそうです！！



今年も学生時代の仲間に出会ってきました。 蓼科山麓の標高1300m辺りにある山小屋『じんじろげ小屋』で合宿中の現役とのOB会です。 車組、新幹線組それぞれですが50名超の老若男女が集まりました。 林道の入り口は鎖で塞がれてますが秘密の場所に鍵があり、取り出す暗号は校名にちなんです。 この3Km先が目的地です。 小屋に泊まり切れない現役はテント泊。 我々が使っていたテントとは重量、組み立て方、撤収の仕方など隔世の感があります。 去年は暗い中で中身がよく判らない焼きそばなど食べましたが、今年はLEDのランタンをOB会が寄付、キャンプファイアと相まって中身も確認できました。 朝食はおしゃれにガーリックトースト&サラダ。 飯盒飯が定番だった頃と時代は変わったものです。



『かたつむり』、私が大学1年の時の夏合宿報告の部誌です。 この時の合宿場所は『屋久島』、東京から鈍行夜行列車で2泊と鹿児島から折田汽船で夜の航海、早朝の上陸は舳(はしけ)でした。 今は飛行機で一飛！ 表紙のデザイン&かたつむりの文字は私の作品です。 52年も前の事です。



秋を感じる事を並べてみると、いつも行く産直売場『みんな野』で懇意になった村上さんという元気印の女性が作った『トン汁』 ¥200.-。 新米祭りは月末の29,30日...買い出しに出かけねば。 わが家の庭の一角に生え出した『きのこ』..きっと毒キノコでしょうね！



20日付の河北新報の記事、国内有数の渡り鳥の飛来地『伊豆沼・内沼』にマガンが初飛来、ハクチョウは10月10日頃、ガン、カモは10月下旬との事です。 残暑に係らず季節は動いていたんですね～！